

**製品名: VE-カドヘリンウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19762**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	86kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDH5
別名	CDH5; Cadherin-5; 7B4 antigen; Vascular endothelial cadherin; VE-cadherin; CD144
遺伝子 ID	1003.0
SwissProt ID	P33151
免疫原	抗血清はヒト CDH5 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 391-440

**背景**

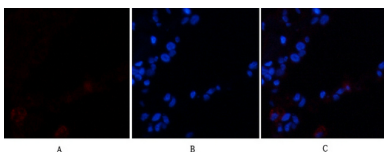
この遺伝子は、カドヘリンスーパーファミリーの古典的カドヘリンをコードしています。コードされているプレプロタンパク質は、

タンパク質分解によって成熟糖タンパク質が生成されます。このカルシウム依存性細胞間接着分子は、5つの細胞外カドヘリンリピート、膜貫通領域、および高度に保存された細胞質テールで構成されています。このタンパク質は、細胞に同種親和性接着能力を付与することで古典的カドヘリンとして機能し、内皮細胞接着結合の構築と維持に役割を果たしています。この遺伝子は、乳がんや前立腺がんにおけるヘテロ接合性消失イベントに関与する16番染色体長腕領域の遺伝子クラスターに位置しています。[RefSeq提供、2015年11月],function:Cadherins are calcium dependent cell adhesion protein.,function:Cadherins are calcium dependent cell adhesion protein. they are preferred to interact cell;このように、カドヘリンは異種細胞の選別に貢献している可能性がある。このカドヘリンは、細胞間接合部の接着と組織化を制御することで、内皮細胞生物学において重要な役割を果たす可能性がある。α-カテニンと会合して細胞骨格との結合を形成する。類似性: 5つのカドヘリンドメインを含む。細胞内局在: 細胞間境界、おそらく細胞-マトリックス境界に認められる。組織特異性: 内皮組織および脳。,

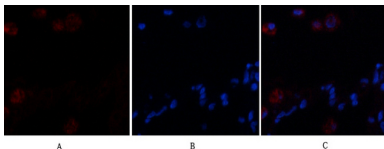
## 研究分野

細胞接着分子 (CAM) ;白血球の内皮透過性遊走;

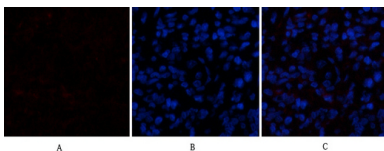
## 画像データ



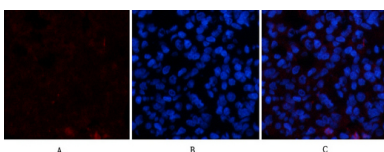
ヒト肺組織の免疫蛍光染色。1, VE-カドヘリンポリクローナル抗体 (赤) を1:200に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を1:300に希釈 (室温、50分)。3, 写真B: DAPI (青) 10分。写真A: ターゲット。写真B: DAPI。写真C: A+Bのマージ。



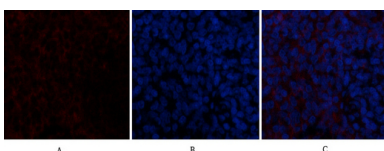
ヒト肺組織の免疫蛍光染色。1, VE-カドヘリンポリクローナル抗体 (赤) を1:200に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を1:300に希釈 (室温、50分)。3, 写真B: DAPI (青) 10分。写真A: ターゲット。写真B: DAPI。写真C: A+Bのマージ。



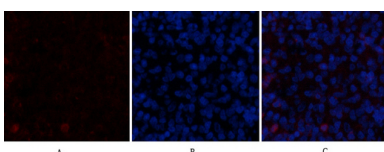
ラット肺組織の免疫蛍光染色。1, VE-カドヘリンポリクローナル抗体 (赤) を1:200に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を1:300に希釈 (室温、50分)。3, 図B: DAPI (青) 10分。図A: ターゲット。図B: DAPI。図C: A+Bのマージ。



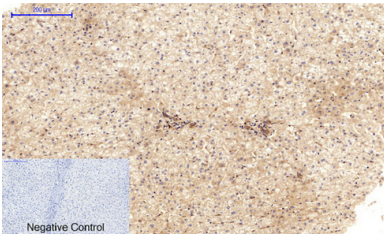
ラット肺組織の免疫蛍光染色。1, VE-カドヘリンポリクローナル抗体 (赤) を1:200に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を1:300に希釈 (室温、50分)。3, 図B: DAPI (青) 10分。図A: ターゲット。図B: DAPI。図C: A+Bのマージ。



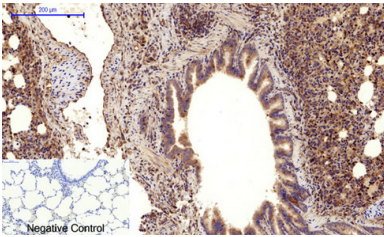
ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, VE-カドヘリンポリクローナル抗体 (赤) を1:200に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を1:300に希釈 (室温、50分)。3, 図B: DAPI (青) 10分。図A: ターゲット。図B: DAPI。図C: A+Bのマージ。



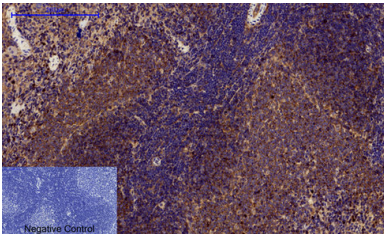
ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, VE-カドヘリンポリクローナル抗体 (赤) を1:200に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を1:300に希釈 (室温、50分)。3, 図B: DAPI (青) 10分。図A: ターゲット。図B: DAPI。図C: A+Bのマージ。



パラフィン包埋ヒト肝組織の免疫組織化学染色。1. VE-カドヘリンポリクローナル抗体を1:200に希釈（4℃、一晚）。2. クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を用いて抗体賦活化（>98℃、20分）を行った。3. 二次抗体を1:200に希釈（室温、30分）。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ラット肺組織の免疫組織化学染色。1. VE-カドヘリンポリクローナル抗体を1:200に希釈（4℃、一晚）。2. クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を用いて抗体賦活化（>98℃、20分）を行った。3. 二次抗体を1:200に希釈（室温、30分）。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ラット脾臓組織の免疫組織化学染色。1. VE-カドヘリンポリクローナル抗体を1:200に希釈（4℃、一晚）。2. クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を用いて抗体賦活化（>98℃、20分）を行った。3. 二次抗体を1:200に希釈（室温、30分）。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。